

# Hop Step Jump



## 小学校授業づくり③④

大教大附属池田小学校での  
授業づくり研修を振り返って

**授業に対して熱い気持ちを持たれている先生が多いと感じ、良い刺激になりました。**

今回の研修は、私たちの仕事の核心である授業づくり、初任研第 7、8 回(8/18)は、小学校の先生方を対象に大阪教育大附属池田小学校で実施しました。受講者の皆さんは、理科、社会、外国語活動から 2 教科、音楽、図工、体育、家庭科から 1 教科を選択し、3 つの模擬授業を受け研究協議を行いました。

「先生。今日は何するの?」っていうわくわく感や期待感。大切です。

子どもの意見で授業がすすめられていて、子ども主体ってこういう授業なんだなと思いました。授業を受けていて、次は何をするんだろう、とわくわくしました。私も子どもたちがわくわくするような授業を考えていきたいです。(理科)

先生が教えたいから、児童が学びたいへ。そんな仕掛けが満載でした。

とても楽しく、取り組みやすい授業でした。ワークシートを使って操作活動があったので、夢中になって活動できました。近くの人との交流もたくさんできて、自分の考えと比較して考えることや自分の考えを相手に伝えることも学ぶことができました。私もこれから 3 年生で同じ単元をします。たくさん教えて、見せて頂いた技を活かしてがんばりたいと思います。(社会)

最初から最後まで、授業の目標はぶれず、知らない間に繰り返し聴き、使っていました。

「かまえる」で練習した l/r の発音練習が最後の活動まで生きていたり、事実の伝え合いである虹の色から、自己表現の活動であるポストの色への活動のつながりから、授業構成の際に、ねらいからずれない授業展開を考えることが大切だと気づきました。また、絵本やスライド・色鉛筆など様々な教具を用いて聴覚的だけでなく、視覚的にも刺激を与えることで、子どもの学びを深めると思いました。(外国語活動)

得意な人も苦手な人もいつの間にか夢中になり、音楽の世界に引き込まれます。

本当に 45 分があつという間におわり、楽しく学べる授業でした、ドレミの歌体操は体を動かすということで、身体全体で音楽を楽しめるのでぜひ、取り入れてやりたいです。いつも鍵盤ハーモニカをする際に、これをするよといったら、すぐに吹き出してしまい、ざわざわとなっていました。今日、子どもが歌っている間に先生が一人吹き出すと、耳を澄ませること吹きたいという思いがつのって、一石二鳥ということも感じたので 2 学期からの授業ですぐに活かせることばかりでした。(音楽)

えっ!? こんなことができるの!! って発見の数々。次はこんなことがしてみたいって思える授業でした。

筆以外の様々な道具を使うことによって、この道具だったらこんな模様ができるんだー! とか、新しい発見があって楽しかったです。また、友だちの作った作品を見るのもおもしろいし、なにより、自分の想像した世界を自由に表現できるところがたのしかったです。(図工)

暑い体育館。先生の笑顔に引っ張られました。

ホワイトボードやテレビなど視覚的支援があり、とても分かりやすかったです。自分の授業だと、口頭や笛だけの指示になってしまっていたので、視覚的にも何か支援を入れていこうと思いました。他の授業でもいえることですが、“スモールステップ”が大切だなあと思いました。並ぶ事も着替えることも先生と一緒にする。(体育)

どんな発言も受け取ってもらえる、ととてもあたたかく、安心して受けられる授業でした。

「片づけ」というテーマで、どのようにすすめるか全く想像もつきませんでした。すごく楽しく学べ、片づけてみようかと思う内容でした。家庭科の授業をしたことがないのですが、こんなに楽しい授業ができれば、子どもたちもうれしいだろうなと思いました。(家庭)

どの授業も工夫や挑戦にあふれたものばかり。子どもたちが前のめりに学ぼうと成長していく姿が想像できました。1 日の研修、みなさんお疲れ様でした。